

広  
報

# ゆうばり



No.1300 2011

市長所信表明と教育行政方針 .....	2
幸福の黄色いハンカチ基金の運用状況 .....	6
平成23年度6月補正予算 .....	7
夕張市の財政状況 .....	8



第1回ゆうばり小学校大運動会が6月4日に開催された。テーマは「ゆうばり小 れきしをひらく スタートダッシュ！」新しい歴史の1ページを刻もうと285人の児童たちは、父母らの大声援を受けながら競技に汗を流した。

## 歴史を開いた大運動会

平成二十三年第二回定例市議会が六月二十四日開催され、鈴木市長が一期目の市政運営についての所信表明、小林教育長が教育行政方針を示しました。その概要をお知らせします。

## 所信表明

市長就任から早2ヶ月が経過しました。その中で、この夕張市が、道内外の多くの皆様から大きなご支援により、支えられている自治体であることを改めて痛感しているところです。

そのご支援にしっかりと応え、夕張市の再生を着実に進めなければならぬという大変重要な使命に日々身を引き締まる思いです。

定例市議会において、市民の皆様、そして市民の代表たる市議会議員の皆様、一期目の市政を行うにあたって、私の所信を述べさせていただきます。

## 夕張のイメージチェンジ

はじめに、私が市政運営でも大切にしたいもの、それは市民の皆様の声であるということ宣言します。

選挙戦の中で、私は約5、7

00世帯余りの方々とお会いしました。雨の中、雪の中、夕張のために」と手を強く握ってくれたあの暖かい手が私の原点です。私が市内を歩き、握り返していただいた手の中には、長年炭鉱で力を尽くしてくださった方々の手もありました。

夕張は炭鉱とともに成長し、エネルギー政策の転換という激動の歴史を歩んできました。夕張の根底には、そうした変化を生き抜いてきた方々の想いが流れています。そうした想いを胸に、今、しっかりと夕張の歴史認識が改めて必要ではない

かと考えています。

夕張は「炭都」として隆盛を誇った時代と、エネルギー政策の転換により、石炭産業が斜陽となる地域衰退の時代という相反する歴史を体験してきました。夕張市が行ってきた「炭鉱から観光へ」を目指すまちづくりは、地域活性化の象徴であり、観光事業を推進することで、炭鉱閉山の後始末を進めることは、当時の夕張市にとっては重大な決断であったと考えています。

夕張市は、新たなまちづくりに一丸となつて、懸命に取り組んできたものの、これまでの産炭地域に対する国の財政支援の基盤であった「産炭地域振興臨時措置法」が失効したことに加え、我が国の経済が未曾有の



大不況に陥る中、地方交付税制度の見直しなどにより、地方における従来の財政運営手法が行き詰ったこと、また、閉山後の地域振興対策や観光事業への過大投資が、財政を強く圧迫したこ

となどから、ちょうど5年前の平成18年6月に、当時の市長が「財政再建団体」となることを断腸の思いで決断し、市議会の場で表明したところです。

当然、財政再建は、夕張市の責任で成し遂げていかなければなりません。

しかしながら、混乱の中で策定した、財政の立て直しを主眼とする「財政再建計画」は、予想以上に厳しい内容のものと成らざるを得ませんでした。

こうした中、国では、地方自治体の財政破綻を防ぎ、また破綻した場合の財政健全化を着実に進めるための「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」を新たに制定しました。

本市は、この法律に基づき新たに「財政再生計画」を策定し、総務大臣の同意を得て、全国初の「財政再生団体」になることとなりました。

この新計画は、当初の計画と異なり「財政の再建と地域の再生」を目的として必要な事務事業をできる限り反映させたものとなりました。

しかしながら、当市の標準財政規模である約45億円の7倍にも匹敵する約322億円もの財政赤字を着実に解消していくた

めには、引き続き、歳入の確保と歳出の抑制に懸命に取り組んでいかなければなりません。

## 新たな可能性を創造するまちへ

こうした厳しい状況の下、本市の再生を図っていくためには、本市に漂っている大きな閉塞感を打破し、夕張のイメージチェンジに取り組んでいくことが大切と考えます。

「財政破綻したまち」から、「再生に向かい走り出したまち」へと、着実に見える形が変わっていくことが必要であり、そのためには、市役所自体を改革するとともに、市民の皆様の情熱と知恵を集め「夕張はひとつ」という意識の醸成が不可欠であると感じています。

本市は、これまで石炭産業が輝いていた時代から今日に至るまで、何かに「依存する体質」があったように思えます。

また、必要なことであっても前例に無い改革から目を背けてきた感があります。

私は、本市が心身ともに生まれ変わっていくためには、今こそこうした依存心や前例主義からの脱却を大胆に進める必要が

あると考えています。

「財政再生団体だから」というネガティブな考え方から、「夕張だからこそ出来る、やれる」というポジティブな発想が必要なのです。

これから行財政運営に取り組んでいくにあたり、この前例主義からの脱却と出来る、やれるを目指す意識改革を基本姿勢に据え、前進していきたく強く考えています。

そして、この姿勢を持つことこそが夕張市を「新たな可能性を創造するまち」へと変えていくスタートであり、自分たちの手で未来を創り、自信を持ってその「まち」を子どもたちに引き継ぐことにつながるものと確信しています。

私は、こうした理念を胸に、夕張市長として四つの事項に真摯に取り組むことを誓います。

### 一つ目は、夕張の真の再生

今の厳しい時代、多くの地方自治体では、「自主性・自立性」が損なわれているように感じます。これは地方自治の異常事態であり、危機的状況であると思えます。

財政再生計画の期間短縮

地方が自らの持つ役割を踏まえ、それぞれの地域が特性を活かしたまちづくりを進めなければ、どの自治体もただ「厳しい財政状況に耐える生活」を市民に強いているだけに終わってしまふこととなります。

市民の皆様が安心して住んでいける、住み続けたいと思えるまちづくりを進めるためには、市民の夢と希望がそこになくはなりません。

財政の再生とともに、そうしたまちづくりへの思いの一部が反映された計画が、現在の「財政再生計画」であると考えています。本年度を含め残り実質16年の計画期間はあまりにも長く、何とか短縮できないものかと、市長就任後、苦悩する日々でありました。

しかし、この思いは、夕張市に住む者だけのものではなく、先般挨拶に出向いた片山善博総務大臣や高橋春美はるみ北海道知事をはじめ、大勢の方々から同様な言葉をいただき、私は大変感激したところです。

まずは、このことを皆様に報告するとともに、今後は、国や道との連携を更に深めながら「計画期間の短縮に向けた検討」を絶えず行っていきたく

考えています。

私は、夕張が持つ特性を活かしたまちづくりを進めながら、市民が安心して暮らし続けられるまちを創ることが、夕張の真の再生につながるものと考えています。

そのためには、財政再生団体であっても、まちの将来像やそれを実現するための取り組みについて、市民の皆様の声聞きながらとりまとめ、真の再生に向けたまちづくり計画を策定することが不可欠であり、現在、今年度末の完成を目指し検討を進めている「夕張市まちづくりマスタープラン」の中に、その想いを着実に反映していきたくと考えています。

### 二つ目は、行政改革の着手

柔軟で機敏な市政運営を実現するためには、職員の意識改革がまず必要です。

職員は、地域の実情や課題に常に目を向け、その解決に向けて自ら考えていかなければならないと考えています。

私は、職員が地域における市民の声を吸い上げ、行政運営に反映するシステムとして「地域担当職員制度」を早期に導入し、

職員の意識の高揚と地域の課題処理に努めます。

また、一方的な情報の提供や要望の受入れではなく、市政の成果を市民にわかりやすく説明し、「可能なことは進める」「出来ないことはなぜ出来ないのか」を明らかにすることで、市民の市政参画を進め、地域づくりにおける市民との協働体制を構築していきたくと考えます。

そのためには、職員の士気高揚が重要です。職員の奮起を促すためにも、真に頑張った者が正当に評価されるシステムの整備も図られなければなりません。職員一人ひとりが、公務における目標を設定し、実施後その検証・評価を行う「人事評価システム」の導入を検討するなど、職員の資質の向上に努めます。

### 三つ目は、安心して生活できる夕張づくり

夕張市は、全国都市の中で最も高齢化が進んでいる市です。

しかし、お年寄りが多いからといって何ら深刻な問題ではありません。むしろ、元気に毎日を通していらっしやる高齢者の方々を知恵を借りたり、歴史などを学ばせていただけること

は素晴らしいことであり、そのことを地域の再生に活かしていくことの出来るスキームづくりが必要ではないかと考えます。市民の健康を守る

その一つが予防医療であり、高齢者の在宅医療です。

夕張市のように高齢化率が44%を超える地域で、これらの取り組みを進めることは、安心な生活を守るための救急医療の維持とともに大変重要なことであり、バランスのとれた医療体制を市民の皆様とともに考え、築いていくことが、喫緊の課題であると認識しています。

元気な高齢者を増やすための「夕張ならではの支援策」を確立したいと考えています。

私の出身地である埼玉県三郷市では、市民ぐるみで「健康増進策」を展開していることから、そうした先進的な事例も参考にさせていただき、高齢者はもとより、市民の健康増進対策に取り組んでいきます。

三世代交流のまち実現  
高齢化が進む一方で、乳幼児や児童数が減少する少子化が進んできています。

子育て世代や若い方々が、安心してこのまちに住んでいただくことが可能となるような政策

の早期実行が必要であることから、乳幼児医療費の無料化や健康診断の無料化など、これまでの枠に捉われない政策を実現させるとともに、子育て世代と高齢者世代が交流し、お互いに学び合い、助け合って毎日を過ごしていくことが出来る「三世交代流のまち」実現に向けた取り組みを進めます。

#### 市民に優しい除雪、排雪

更に、高齢者をはじめ、市民にとつて冬の除雪は大きな負担となつています。特に市営住宅などの団地内では、降り積もつた雪を跳ねる作業と共に堆積した雪の排雪作業は二重苦になつており、雪の壁は交通安全対策からも大きな問題となつています。

こうした問題を踏まえ「市民に優しい除雪、排雪」の推進を検討し、実現に向けて取り組めます。

#### 四つ目は、首都東京との連携

我が国の政治経済をはじめとする様々な分野は、首都東京を中心に動いていることは紛れもない事実です。

「東京一極集中」という問題は、勿論ありますが、我が国の中心

はやはり首都東京にあり、多くの自治体が首都との連携を望んでいることは間違いありません。

私も、東京都やその圏内にある地域と夕張市との連携強化を図られれば、あらゆる分野で「夕張再生」のための大きな成果が生まれてくるものと考えます。

単に人や物が集まるといふことだけではなく、東京都が持つ様々なノウハウやネットワークを夕張に活用することで、地域再生の基盤づくりに向けた大きな効果が期待できるからです。

#### 副市長担当理事職の派遣

自分の前職である東京都との連携をより一層強化し、様々な効果を発揮させていくためにも東京都との人的なつながりを強めることからスタートしたいと考えています。

当面、副市長は置かず、その代わりに道からの理事の派遣と同様に東京都に対しても副市長相当職としての理事の派遣を要請していたところ、人選も決まり、7月1日から派遣されることになりました。

#### 夕張支援窓口の設置

また、既に東京都庁各局の総合調整を行う知事本局部内に

「夕張支援窓口」を設置していただき、夕張再生に向けた具体的な支援策について、本市と連携を取りながら都庁の関係部局との調整に着手しているところです。

こうした特定地方に対する「特命チーム」の設置は、過去に例が無く、東京都が持つ優秀な人材、大きな経済力、素晴らしいノウハウをこの夕張に活用させていいただきながら、夕張が元気を復活させ、地域に活力が出てくるような施策を打ち出していきたく考えます。

#### 市民一丸となり新しい道をつくる

我がまち「夕張」は依然として厳しい環境に置かれたままの状態にあります。

しかし、それは夕張のみの問題ではなく、事の軽重はありますが全国の多くの自治体が、少なからず同様の問題を抱えながら悪戦苦闘している状況にあると言えます。

最も厳しい条件下にある夕張が真の再生を成し遂げることで、地域の再生に向けた希望の輝きを他の自治体に示すことができると考えます。

また、全国からご支援いただいている夕張が、再生に向けて一丸となって頑張っている姿を見せていくことが、本当の恩返しにつながるものと思っております。

厳しい時代、厳しい環境下にあればこそ、頑張る姿が輝くものであると信じ、これからの市政運営と新たなまちづくりに挑戦していきます。

私たちが歩む道は、過去に誰も経験などしていない道であり、それは「荊の道」と言っても過言ではないと思います。

しかし、何としても歩んでいかなければならない道です。

この道を市民の皆様、議員各位と共に力強く前に向かって歩んでいきたい。

「新たな可能性を創造するまち」を皆様とともに創っていき

たい。そんな気持ちで一杯です。市民生活を守り高める市政の運営とそのため具体的な施策の実施については、今後、議会にお諮りをし、ご議論とご審議を願うこととなりますが、市民の皆様並びに議員各位におかれましては、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。私の所信表明とさせていただきます。

## 教育行政方針

夕張の未来を担う子供たちが人間性豊かで創造性にあふれ、心身ともにたくましく成長していくよう取り組んでいくともに、夕張市民一人ひとりが生涯にわたって、文化やスポーツに親しみ、学習し、生きがいを持って生活できる生涯学習社会を展望し教育行政の執行に努力します。

小・中学校1校化の方針に基づき、昨年には「夕張市立夕張中学校」が、本年4月には「夕張市立ゆづり小学校」が開校しました。

小・中1校体制のもと、地域との連携、地域の方々との協働を通して、夕張ならではの新しい学校づくりを進めます。

第一に、教育活動の成果を診断・評価する「学校評価」を基に、地域の協力を得て学校運営を行うことが重要であるため、地域の代表、学識経験者、PTA役員などで構成する組織（仮称「夕張学校サポート会議」）を立ち上げ、地域に開かれた学校を基盤として、児童・生徒の発達段階に応じ、地域の特性や課題をもとに、生命の尊重と、心のふれあい大切にされる教育

を目指します。

第二に、夕張市全体で学校教育を支援する「学校支援地域本部事業」の活動を更に進め、地域に開かれた学校づくりを推進します。

第三に、幼・小・中・高校間の連携を深めるため、各学校の代表などによる検討組織（仮称 夕張市学校連携協議会）の立ち上げを図り、学習指導の工夫充実、創意を生かし、活力に富む教育諸活動を充実に努めます。そのため、体験的学習、地域自然・社会素材を活用した学習や地域の人々などの参加による学習活動の指導の充実に努めます。

小学校では、特別支援教育支援員などを活用し、子どもの発達段階や実態に則し、学習した内容が確実に身に付くような取り組みを勧めます。

中学校では、千歳市と連携し、デジタル教材やeラーニングシステムを活用した授業を行うための教育環境の整備を進めます。

読書活動については、図書コーナーと学校図書館との連携や巡回文庫の充実など、読むことに対する興味・関心を高めるための取り組みを進めます。

外国語活動については、外国

語指導助手（ALT）の活用を通して、中学校の外国語は教育と小学校での国際理解・外国語活動の充実推進に努めます。

生徒指導については、教職員が一体となり、常にコミュニケーションを図り、信頼関係を築きながら行政・学校・家庭・地域の連携を深め、日常的な生徒指導研修などを通して情報の共有と専門性の活用を進めます。小・中学校の統合により、一つの学校で学ぶことから、スムーズに環境の変化に適応し、より良い人間関係が築かれるよう、また、いじめや、不登校の未然防止など生徒指導の課題解決に向け、中1ギャップ未然防止事業などを活用した取り組みを進めます。

児童生徒の健康安全指導については、健康で安全な生活を営む能力の育成のため、新たに加わる武道も含め体育授業の充実、学校安全と交通安全指導の推進について、地域・関係団体とも連携を深め進めます。

児童生徒の通学の安全安心対策については、岩見沢市と連携した児童見守りシステムや一斉同報サービスを導入し、登下校情報などのサービス提供に努め

ます。

バス添乗員や「見守隊員」と「見守りの家」の配置の充実や高学年の児童が低学年児童をサポートする体制の醸成に努めます。

信号機、横断歩道、バス停車帯などの交通安全施設の整備について、関係機関に引き続き要請します。バス待合所についても、財源確保を含め必要箇所の設置について検討します。

通学の安全確保については、自主防犯組織なども連携し、安全安心に通学できる体制を地域ぐるみで進めます。

特別支援教育については、障がいを持つ子どもたちの支援と指導のため関係機関の代表で構成している「夕張市就学指導委員会」での対応や「特別支援教育連携協議会」の設置など指導の充実に努めます。

学校保健については、関係機と緊密に連携し、インフルエンザなど感染症の予防対策に努めます。

学校給食は、献立の充実と食に対する指導計画・実践を通して食育の充実を図ります。食中毒など給食事故を防止し、子どもたちに喜ばれる給食の提供に努めます。

学校教育の充実のために、日

常の教育実践や工夫を積極的に進め、学校内外での授業研究と共同研究の推進、その公開など研究・研修の充実に努めます。ユーパロ幼稚園は、「学び」と「遊び」を中心とした教育課程の充実を図り、魅力ある幼稚園づくりを通じ、園児の確保に努めます。

社会教育の推進については、各種の市民団体やサークルなどとの連携を図り、活動を支援し、文化・芸術・スポーツの振興に努めます。

生涯学習関係の市民グループや北海道教育大学岩見沢校の継続的な支援・協力による学習機会の提供と協働・連携し、取り組みを推進します。

青少年教育については、社会的ルールや思いやりの心を育んでいくことが重要であり、関係団体などと連携しながら、その充実に努めます。

児童・生徒に対して、生の舞台芸術など優れた芸術作品に接する機会を設け、豊かな情操を育むため芸術鑑賞事業の充実に努めます。

高齢者教育については、「もも倶楽部（高齢者学級）」を開設し、講座の充実に努めます。

文化財の保護・活用について

は、夕張岳の自然環境を守る活動や夕張の歴史を語る施設や郷土資料を守る活動など関係行政や市民団体と連携し、情報の発信、啓発活動に取り組みます。夕張中学校の空教室を整備した歴史資料室は、広く市民に公開します。

図書コーナーは、市民・子どもたちの読書活動を推進し、インターネットによる図書検索システムを活用し、道立図書館との連携強化、運営の効率化、利用者の利便性の向上を図ります。美術館は、引き続き指定管理者による運営を行い、「ふるさとギャラリー」で一部展示をするなど市民の鑑賞機会の提供に努めます。

体育施設については、利用者への利便性を考慮し、合理的な管理運営を行い、ネーミングライツによる新たな財源確保を図り、スポーツに楽しむことができる施設運営を進めます。

指定管理による施設については、指定管理者と連携し、運営の円滑化と利用促進を図ります。

## 平成22年度の運用状況 幸福の黄色いハンカチ基金

『幸福の黄色いハンカチ基金』は、平成19年度から施行された『夕張まちづくり寄附条例』に基づき全国から寄せられた寄付金を、運用管理するために設置された基金です。

### 《寄付の受け入れ》

平成22年度に、本基金に全国から寄せられた寄付金の総額は、3039万927円で、全額を『幸福の黄色いハンカチ基金』に積み立ていたしました。

本条例における寄付は、寄付者が自分の寄付金の使い道を指定できることが特徴で、寄付者が指定した使い道の分野ごとにまとめると次のようになります。

221万6140円

③子どもたちの健全な育成に関する事業 169万9200円

④市民の文化・スポーツ活動の推進に関する事業 10万5000円

⑤歴史的に貴重な炭鉱遺産の伝承及び保全に関する事業 16万5000円

⑥映画ロケセット施設の保全に関する事業 0円

⑦市民による映画祭の開催に関する事業 6万3000円

⑧特定団体、特定事業を指定したものの 862万0円

### 《基金の処分》

平成22年度では、次の事業を行なうため、『幸福の黄色いハンカチ基金』から取り崩しを行ないました。

幸福の黄色いハンカチ基金助成事業分 520万5250円

市民団体への助成以外の事業に活用した分 8万7179円

寄付者が特に指定した団体への助成分 1290万236円

寄付者が特に指定した事業への活用分 1108万2325円

### 《基金の残金に》

平成19年度から平成21年度実施分とあわせると、平成22年度末の「幸福の黄色いハンカチ基金」の残金（利子による積立分を含む）は、1億4782万3126円となります。

詳しい内容は夕張市ホームページに掲載しています。

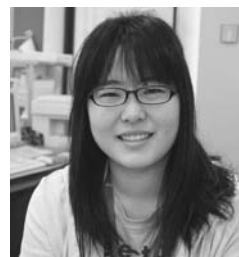
問合せ先 地域再生グループ  
☎ 52 3141

私たちは、今年から市役所職員になりました。がんばっていますので、よろしくお願いします。



左近 航さん  
25歳  
地域再生G

私は音威子府村の出身です。仕事は主に全国から寄せられた「黄色いハンカチ基金」を担当しています。夕張は札幌にも近く、どこへ行くのにも便利だと感じています。



大川みことさん  
18歳  
市民保険G

今年、市内の高校を卒業しました。市民の窓口として「住民票や戸籍の受付」をしています。仕事をした経験がなかったので、人と接することは大変だと感じていたけど、今は少し慣れてきました。



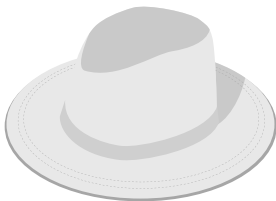
竹永周平さん  
26歳  
農林建設G

石狩市の出身です。仕事は「住宅料の滞納処理」をしています。夕張は暗く、寂れた感じがあつたけど、住んでいる人は明るくて元気があると思う。住んでみると静かで落ち着けると感じています。



山口 翼さん  
25歳  
上下水道G

出身は札幌市です。水道事業の会計を担当しています。料金の滞納整理などで市内を回る程度でいつも市役所にいます。少し慣れてきていますけど仕事に対して気が抜けない毎日です。



平成23年度6月補正予算

平成23年度補正予算が、6月第2回定例市議会で可決されました。補正予算の内容は次のとおりです。  
一般会計補正予算は、財政再生計画内の予算の組み替えのみで、計画の変更は今回ありません。

予算の補正を行った会計と補正予算額

単位：千円

会計名	補正前の額	6月補正額	補正後の予算額
一般会計	9,897,857	0	9,897,857
国民健康保険事業会計	1,885,433	51,584	1,937,017
介護保険事業会計	1,559,410	9,230	1,568,640

問合せ先 市行財政管理グループ ☎ 5 2 - 3 1 2 2

一般会計

【歳出】

6月1日付採用の消防職員1人に係る消防学校入校などの経費

502千円

道職員派遣に伴う赴任旅費を旅費規程の見直しに伴い減額

502千円

国民健康保険事業会計

【歳入】

平成22年度決算により生じた剰余金（黒字）の繰越措置

51、584千円

【歳出】

決算剰余金の国民健康保険準備基金への積立

51、386千円

健康維持などを目的に実施する市民への健康教育講座開催経費

198千円

介護保険事業会計

【歳入】

歳出の補正に伴う財源を道補助金により全額措置

9、230千円

【歳出】

防火・避難基準を満たすため、介護福祉施設の改修を行う市内2事業所に対する補助

9、230千円

忘れていませんか？ 水分補給！



私たちが生きていくために欠かすことのできない「水」。なんと私たちの体の約60%は水分でできています。それだけではなく水は栄養素や代謝物の運搬、体温調節など、生命活動の重要な役割を担っています。

水分補給は水や低カフェインのお茶を中心に  
砂糖や塩分の濃度が濃いと、水分の吸収に時間がかかります。また、

健康を保ち、毎日を元気に過ごすためにも水分を取ることがとても大切です。  
気温が上昇するこれからの季節は特に、汗をかき、体内の水分が不足すると熱中症、脳梗塞、心筋梗塞などを引き起こす原因にも……！

アルコールや多量のカフェインを含む飲料は、尿の量を増やし体内の水分を排泄してしまうため、水分補給には適していません。  
常温か温かい飲み物を  
冷たすぎる飲み物は身体を内側から冷やし、血行不良、基礎代謝の低下を引き起こします。その結果、肌の老化の原因になったり、食べたものが脂肪として付きやすくなります。

健康のための水の飲み方

水分補給はこまめに

1回当たりコップ1杯程度を、1日の中で数回に分けて飲みましょう。少なくとも1日1.2リットルが目安です。（食事以外で）

意識しないと忘れがちな水分補給。子どもから大人まで、かしこい水分補給で元気に夏を乗り切りましょう！  
病気などで水分の摂取に注意が必要な方は主治医と相談を。

のどが渇く前に水分を  
のどの渇きを感じたときには、すでに脱水が始まっています。特に朝起きた時と寝る前、スポーツや入浴の前後、飲酒中は意識して水を飲み

管理栄養士 南 綾香

# 夕張市の財政状況

《平成22年度各会計の決算見込みをお知らせいたします》

## 一般会計

歳 入		
科 目	主な内容	執行済額
市 税	市民税・固定資産税・軽自動車税など	9億5,730万円
地方譲与税・交付金	道路譲与税・自動車重量譲与税など	2億3,106万円
地方交付税	普通交付税・特別交付税	53億1,766万円
負担金	保育料・老人ホーム入所費など	5,509万円
使用料・手数料	公営住宅・浴場などの施設使用料、住民票・ごみ処理などの手数料	6億7,722万円
国・道支出金	特定の事業に対し、国・道から交付される収入	17億5,883万円
財産収入	市有地売払代、車庫貸付料など	6,366万円
寄附金・繰入金	寄附金・基金繰入など	7,092万円
繰越金	平成21年度剰余金	4億5,614万円
市 債	事業を実施する場合の長期借入金	26億2,187万円
諸 収 入	上記に分類されない収入	3億5,765万円
合 計		125億6,740万円

歳 出		
科 目	主な内容	執行済額
議 会 費	議会運営費、議員報酬に	4,221万円
総 務 費	戸籍、徴税、一般事務経費、人件費などに	21億738万円
民 生 費	社会福祉、児童福祉、生活保護などに	21億7,491万円
衛 生 費	浴場、し尿・ごみ処理、病気予防などに	6億8,203万円
労 働 費	勤労者の住宅資金貸付に	358万円
農 林 業 費	農業、林業に	4,295万円
商 工 費	第3セクター損失補償金、商工振興などに	6億2,555万円
土 木 費	道路、公営住宅、公園、除雪などに	16億8,783万円
消 防 費	消防、防災などに	3億5,185万円
教 育 費	学校教育、社会教育などに	7億7,919万円
公 債 費	借入金元利返済に	35億3,963万円
諸 支 出 金	税の還付など他に分類されない経費	384万円
合 計		120億4,095万円

(歳入 - 歳出) A	5億2,645万円
繰越明許費繰越額 B	888万円
事故繰越額 C	25万円
実質収支額 A - (B + C)	5億1,732万円

繰越明許費繰越額とは？

平成22年度中に事業が完了しなかったため、平成23年度に予算を繰り越して執行するものです。今回の888万円は、平成22年度国の地域活性化・きめ細かな交付金に係る補正予算に伴い予算計上した事業に対する一般財源となります。

事故繰越額とは？

平成22年度中の避けがたい事故により年度内に支出が終わらなかったため、平成23年度に予算を繰り越して執行するものです。今回の25万円は、東日本大震災の影響により納期に間に合わなかった事業に係る一般財源となります。

## 特別会計

国民健康保険事業会計	
歳 入	20億1,349万円
歳 出	19億5,591万円
差 引	5,758万円
市場事業会計	
歳 入	350万円
歳 出	191万円
差 引	159万円
老人保健医療事業会計	
歳 入	1,226万円
歳 出	1,226万円
差 引	0円
公共下水道事業会計	
歳 入	2億6,568万円
歳 出	2億6,568万円
差 引	0円
介護保険事業会計	
歳 入	14億6,011万円
歳 出	14億5,800万円
差 引	211万円
診療所事業会計	
歳 入	1億6,623万円
歳 出	1億6,623万円
差 引	0万円
後期高齢者医療事業会計	
歳 入	2億3,498万円
歳 出	2億3,479万円
差 引	19万円

## 公債費の残高

住宅、浴場、集会施設整備	21億7,790万 7千円
公園施設整備	5億5,027万 3千円
道路橋りょう整備	4億7,670万 7千円
社会教育施設整備	6,504万 3千円
学校施設整備	9億4,040万 9千円
観光施設整備	5億2,735万 0千円
産業施設整備	2,169万 4千円
福祉施設整備	2億5,452万 2千円
退職手当	22億9,071万 6千円
下水道施設整備	17億2,307万 3千円
再生振替特例債	321億9,900万 0千円
その他(消防施設など)	51億1,579万 9千円
合計	463億4,249万 3千円

平成22年度末における現在高。水道会計を除く

(参考 平成21年度末現在高) 468億5,914万 0千円  
(増減) 5億1,664万 7千円

問い合わせ

市行財政管理グループ ☎ 5 2 - 3 1 2 2



## 幼児言語指導員 (嘱託職員)を募集

応募資格

市内居住者で通勤可能な方  
昭和36年9月1日以降に生まれた健康で子ども好きの方

小・中学校教諭、幼稚園教諭  
保育士のいずれかの資格がある方

勤務先 夕張市ことばの教室  
(ゆうばり小学校内 清水沢清  
陵町14番地)

募集人員 1人

採用予定日 9月1日

報酬など 月額131,400  
円(社会保険加入)

応募期限 7月15日

応募方法

市販の履歴書

資格を確認できるもの(写し)

提出先 市総務グループ(市役  
所4階)に持参するか、郵送し  
てください。(郵送の場合は7  
月15日消印有効)

試験日 応募者に別途通知し、  
面接試験を行います。

問合せ先 市総務グループ  
☎ 52 3170

## 介護保険各種利用者 負担軽減認定の更新

《社会福祉法人等利用者負担軽減認定》  
(現在認定を受けている方の有効期限は平成23年6月30日)

社会福祉法人などが行っている介護保険サービスを受けている方の利用料の自己負担を軽減する制度です。

現在認定を受けている方には市から更新のお知らせをします。

生活保護受給の方

市民税非課税世帯の方で次のすべての要件を満たす方

1 年間収入が、単身世帯で150万円以下、2人以上の世帯については、世帯員が1人増えることに50万円を加算した額以下の方

2 預貯金などの額が、単身世帯350万円以下、2人以上の世帯については、世帯員が1人増えることに100万円を加算した額以下の方

3 自宅など日常生活のために必要な資産以外に資産を持っていない方

4 負担能力のある親族(課税世帯)に扶養されていない方

5 介護保険料を滞納していない方

《介護保険負担限度額認定》

## 国民健康保険料の料率が決まりました

今年度の国民健康保険料のうち、医療保険料分と後期高齢者支援金分の料率と加入者のうち40歳から64歳の方にかかる介護納付金分の料率が決まりました。

賦課限度額は、国の基準額の変更に伴い医療保険料分が、50万円から51万円に、後期高齢者支援金分が13万円から14万円に、介護納付金分が10万円から12万円に、それぞれ改定になりました。

下記の国民健康保険料改定比較表は、前年度の料率と今年度改定した料率を比較したものです。

加入者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

国民健康保険料の改定比較表

区分	平成22年度	平成23年度	比較増減
医療分	均等割額	20,500円	20,900円 400円
	平等割額	18,400円	15,200円 3,200円
	所得割額	8.80%	8.00% 0.80%
	賦課限度額	500,000円	510,000円 10,000円
後期分	均等割額	8,700円	9,000円 300円
	平等割額	7,700円	6,600円 1,100円
	所得割額	4.80%	4.10% 0.70%
	賦課限度額	130,000円	140,000円 10,000円
介護分	均等割額	7,500円	8,500円 1,000円
	平等割額	5,600円	4,500円 1,100円
	所得割額	2.80%	2.80% ±0%
	賦課限度額	100,000円	120,000円 20,000円

問合せ先

健康保険全般 市市民保険グループ ☎ 52-3105

保険料の内容 市税務管財グループ(賦課) ☎ 52-3120

納付相談・口座振替など 市税務管財グループ(収納)

☎ 52-3129

(現在認定を受けている方の有効期限は平成23年6月30日)  
介護保険施設に入所(短期入所を含む)している方の食費・居住費(短期入所の場合は滞在費)の自己負担を軽減する制度です。

現在認定を受けている方には市から更新のお知らせをします。

対象となる方

市民税非課税世帯の方  
新たに社会福祉法人などの行うサービスを利用し始めた方や介護保険施設に入所した方は、随時申請を受付しますので、相談ください。

問合せ先 市保健介護グループ  
(介護福祉) ☎ 52 3164

講習期間 8月28日～12月17日  
の12日間  
講習場所 道民活動センタービル(かでの2・7)  
申込期限 7月22日  
申込・問合せ先 (社)北海道身体障害者福祉協会 ☎ 011 251 1551

## 要約筆記養成講座の受講者を募集

夕張市農業委員会委員選挙

7月19日で任期満了となる夕張市農業委員会委員の選挙を行います。選挙すべき委員の数は3年前と同様5人です。

投票日 7月10日  
投票所 農業研修センター  
午前7時～午後4時  
開票日 即日午後4時 農業研修センター  
期日前投票所 7月4日～9日 午前8時30分～午後8時  
市役所4階  
不在者投票 都合で市外に滞在している方や指定された病院に入院・入所して投票所に行くことができない方は、不在者投票をご利用ください。  
投票所入場券 7月3日以降に郵送します。無投票の場合は郵送しません。  
選挙権 夕張市農業委員会委員選挙人名簿に登録されている方（夕張市農業委員会の区域内に住所があり、30アール以上の農地で耕作している方やその同居親族または配偶者・農業生産法人の社員などで、年間概ね60日以上耕作に従事している満20歳以上の方）  
問合せ先 市選挙管理委員会事務局 ☎52 3142

募集します  
幸福の黄色いハンカチ  
基金使途選定委員

「幸福の黄色いハンカチ基金」は夕張まちづくり寄附条例に基づき全国から寄せられた寄附金を積み立て、夕張のまちづくりや地域の再生に活用するものです。

この基金の活用について、一緒に考えていただける使途選定委員を募集します。

募集分野 女性（年齢は問いません） 青年（男女 18歳～40歳まで、ただし高校生は除く。）  
募集人員 各1人  
応募資格 夕張市民 定期的な会議に出席可能な方（交通費、報酬等はありません。）  
作文「夕張市のまちづくりに関する考え」を600字程度にまとめて提出してください。（氏名、年齢、住所、職業、電話番号を記入）  
応募者多数の場合は、書類選考とします。

応募期限 7月15日  
申込・問合せ先 市地域再生グループ ☎52 3141

埼玉県三郷市「シルバー元気塾in夕張」

とき・ところ 8月31日 午後1時30分「ゆづり文化スポーツセンター」 9月1日午後1時30分「清水沢健康会館」  
対象 60歳以上の市民の方  
参加料 無料  
講座内容 簡単な運動と筋力トレーニング  
講師 埼玉県三郷市シルバー元気塾推進課  
申込期限 7月22日  
申込・問合せ先 市市民保険グループ ☎52 3150

みんなで歩こう！ノルディックウォーキング講座

とき 8月17日 午前9時～12時  
ところ 平和運動公園第1球技場  
対象 市民の方  
参加料 無料  
講座内容 両手で専用ストックを持って歩く運動  
講師 鞘野紳量（さやのしんりょう）氏  
申込期限 7月22日  
申込・問合せ先 市市民保険グループ ☎52 3150

道道夕張岩見沢線（旧昭和通り）全面通行止め

現在、工事が行われている道道夕張岩見沢線（旧昭和通り）は、上下水道設備移設工事のため、全面通行止めとなります。市役所前から日石スタンド（末広）の間は、通り抜けができません。  
通行止め期間 7月19日～9月9日  
全日通行止めとなり、夜間も通行できません。  
通行止め場所 ドリームハイツ付近（昭和）  
う回路 本町通線（旧夕張小学校前通り）を利用ください。  
その他 歩行者と自転車は通行できます。

地デジ臨時相談コーナーの開設

地デジ放送に関する無料の「地デジ臨時相談コーナー」を開設しています。  
とき 7月22日まで  
ところ 南支所  
とき 7月24日～8月26日  
ところ 市役所1階  
時間 いずれも午前9時～午後5時

南空知再発見バスツアー

問合せ先 デジサボ道央 ☎011-271-3825、市地域再生グループ ☎52 3141  
「美唄炭鉱の歴史&美唄ピハの湯バスツアー」  
とき 7月27日 午前10時30分～午後3時30分  
ところ 炭鉱メモリアル公園、アルテピアッツア美唄、ピハの湯  
参加料 大人2,000円、子ども1,500円  
申込期限 7月8日  
申込・問合せ先 市地域再生グループ ☎52 3141

産炭地域こども交流事業

とき 7月23日午後1時～24日午後3時まで  
ところ 夕張岳ヒュッテ周辺と夕張岳登山  
内容 1日目 参加者交流会・川遊び 2日目 夕張岳登山  
参加料 子ども1,000円 保護者同伴の場合保護者は無料  
学生・大人単独1,500円  
申込期限 7月16日  
申込・問合せ先 ユウパリコザクラの会事務局（水尾） ☎52 3306

## 住宅用火災警報器の設置はお済ですか

火災が発生したときに「逃げ遅れ」を防ぐため、すべての住宅に住宅用火災警報器を5月31日までに設置することが、消防法で義務付けられています。まだ、設置していない家庭は早めに設置してください。

設置場所 寝室（普段寝ている部屋）と階段の踊り場です。

種類 煙を感じて警報音や音声で知らせる「煙式」と、熱を感じて警報音と音声で知らせる「熱式」の2種類があります。

他にも、警報音や音声のほかに光を発するものもあります。設置後の届出 警報器を設置後15日以内に届出をしてください。

届書には、警報器の「仕様書」と自宅の「案内図」を添付してください。

届書は、消防署、市役所1階窓口、南支所、各ふれあいサロンで受け取りと届出ができます。悪質な訪問販売にご注意！

家庭用火災警報器などの義務化を契機に、不適正な価格、強引な販売などを行う業者が増えていますので、ご注意ください。

消防職員や市職員が販売することはありません。

問合せ先 市消防署 ☎53 4 122

## ガソリン携行缶の漏えい事故が発生

今年4月以降、長野県の輸入業者が販売しているガソリン携行缶からの漏えい事故が2件発生しています。

いずれも携行缶の溶接部分（サイドシームを覆うゴム）からの漏れです。携行缶を使用する際に、品番とロットを確認し、対象製品に該当する場合は使用しないでください。

対象製品は、メーカーで自主回収と無料交換をしています。

対象製品  
製品名 ガソリン携行缶（MADE IN VIETNAMベトナム製）

品番 携行缶10ℓ YG 10・SS 10・LX 10 携行缶20ℓ YG 20・SS 20・LX 20 携行缶5ℓ SS 5

ロット KC 30 V・KD 10 V・KD 20 V・KD 30 V（製品本体底部に記載）

平成23年4月7日以降に購入した製品が対象です。

問合せ先 矢澤産業㈱ ☎399 3202 長野県下伊

那郡豊丘村神稲9180 ☎0120 830 383（9時～18時まで）

## 家族のための精神保健福祉講座の開催

家族に「統合失調症」と診断された方はいらっしやいませんか。岩見沢保健所では家族を対象に学習会を開催します。

とき 8月11日 午前10時～午後4時

ところ 空知総合振興局5階会議室

内容 午前 講話／講師 向谷地教授（北海道医療大学看護福祉部） 午後 利用できる各種制度の説明、家族同士の語り合いなど

対象者 統合失調症と診断された方の家族

申込期限 8月4日

申込・問合せ先 岩見沢保健所 ☎0126 20 0121

## 高次脳機能障がい者と家族のつどいの開催

とき 奇数月の第3金曜日 午後1時～3時

ところ 岩見沢保健所  
対象者 高次脳機能障がい者と

## 家族

内容 高次脳機能障がい者本人と家族同士の交流のつどいを開催します。高次脳機能障がいについての相談も受けています。

申込方法 事前に電話申込み  
申込・問合せ先 岩見沢保健所 ☎0126 20 0121

## 特定疾患医療受給者証とウイルス性肝炎進行防止対策・橋本病重症患者対策医療受給者証の更新

平成23年度特定疾患医療受給者証の更新とウイルス性肝炎進行防止対策・橋本病重症患者医療受給者証の更新申請を受け付けます。必要事項を記入のうえ提出してください。

とき 7月29日 午前10時～午後4時

ところ 市役所2階ロビー（日程以降も、岩見沢保健所と由仁支所で受付しています。）

問合せ先 岩見沢保健所 ☎0126 20 0115

## CQ CQ フレ〜お楽しみ交流会

歌とフラダンスで交流しませ

んか  
とき 7月6日午後4時30分  
ところ 夕張高等養護学校  
参加料 無料  
申込・問合せ先 夕張高等養護学校（奥山）☎56 5530

## ボイラー技士実技講習会

とき 8月8日～10日 午前10時～午後5時  
ところ 岩見沢イベントホール 赤れんが  
受講料 22、700円（テキスト代含む）  
申込・問合せ先 (社)日本ボイラ協会岩見沢地区支部 ☎0126 3087

## 小型はかりの定期検査

取引や証明上の計量に使用する「はかり」は、検査に合格したものでなければ使用できません。

検査日 【7月20日】午後1時30分～3時30分 市保健福祉センター車庫

【7月21日】午前10時～12時 南支所車庫 午後1時30分～3時 消防署紅葉山分団詰所車庫  
問合せ先 地域再生グループ ☎52 3141

教育委員会からの  
お知らせ

【清水沢プールオープン】

ところ 清水沢清陵町  
利用期間 7月3日～8月28日  
水温が低い日は休みます。中止の場合は、プール前に赤い旗を立てます。

時間 午前10時～午後5時  
入場は、午後4時までです。午後4時50分には帰宅の準備をしてください。

利用料 大人310円、高校生100円、中学生以下無料

【劇団さつぽろ 五感で楽しむ】

短編演劇集  
とき 7月15日 午前10時45分～12時25分  
ところ 夕張中学校体育館  
観覧料 無料  
市民の方も観覧できます。(乳幼児の入場はご遠慮ください。)

【ほくでんファミリーコンサート】  
とき 8月2日 開場午後5時 開演午後6時30分  
ところ ゆうばり文化スポーツセンター  
入場料 無料(整理券が必要1人2枚まで)

【夕張岳登山をされる方へ】  
林道通行の情報  
夕張岳登山に関連した林道(鹿島林道・鹿島支線林道)の平成23年度の開放期間は次のとおりです。  
開放期間 9月30日まで(予定)  
通行できる車両は、ワンボックスカーが限度です。  
林道開放期間であっても、安全確保のことから予告なく通行止めとなる場合があります。ご注意ください。  
夕張岳ヒュッテの情報  
夕張岳ヒュッテの開設期間は次のとおりです。  
開設期間 9月25日まで  
運営協力金

こどものへや



佐藤悠音ちゃん  
平成19年10月15日生まれ  
清水沢清陵町

父・利美さん 母・妙子さん

このコーナーに掲載する乳幼児の写真をお待ちしています。  
●送り先 総務グループ(☎52-3170)

配布場所 教育委員会(市役所3階)、南支所、文化スポーツセンター  
【ふるさとギャラリー「あずましい」の催し】  
北海道交通安全被害者の会「命のパネルメッセージ展」  
とき 7月5日～11日  
「切り絵展」  
市内在住の花田さんと菅野さんの作品  
とき 7月13日～28日  
時間 午前8時45分～午後5時30分  
観覧料 無料

一般(中学生以上)1、500円、小学生500円、小学生未満無料、テント1張り3000円  
管理人 8月31日までは毎日管理人を配置しています。  
9月は、金・土・日曜日、祝日のみの配置です。管理人が不在の日でも宿泊はできません。  
その他 寝具の備え付けはありません。食料・飲料などの販売はしていません。各自持参ください。水場があります。  
各種の問合せ先 市教育グループ ☎52 3166

水泳教室の参加者募集

対象 小学生  
ところ 清水沢プール  
期間 1期7月8日～29日  
までの月・水・金曜日  
2期8月5日～26日までの月・水・金曜日  
時間 午後3時30分～4時50分  
受講料 1期・2期それぞれ3,000円(保険料を含む)  
1期・2期両方5,000円  
申込・問合せ先 夕張スイミングクラブ 小野寺 ☎59 5044

オリンピック水泳銀メダリスト  
中村真衣氏の講演会

とき 7月23日

ところ 講演会 午前10時(ゆうばり小学校) 水泳教室午後1時(清水沢プール)  
入場料 無料  
問合せ先 夕張スイミングクラブ 小野寺 ☎59 5044

美術館の催し

郷土美術が語る・創造の世界I  
とき 7月17日まで  
観覧料が必要  
素描でみる、夕張の街並み  
とき 7月10日まで  
休館日 7月4日  
時を超えて夕張・一滴の風景  
②  
とき 7月26日～8月7日  
休館日 8月1日  
問合せ先 市美術館 ☎52 0930

平成23年6月1日現在

人口	10,769人(-38人)
男	5,056人(-11人)
女	5,713人(-27人)
世帯数	5,921世帯(-18世帯)
	( )は前月比

次号、8月号の広報ゆうばりは8月1日に配布いたします。